

ポートフォリオの見直しについて

「スカイオーシャン・サテラップ（株式型）」（以下「当ファンド」）につきまして、以下のとおり投資対象ファンドの見直しを11月18日を基準日として実施いたしましたのでご報告いたします。

見直しの概要

下振れ抑制の強化

① 金（為替ヘッジあり）の新規組み入れ

当ファンドでは、株式市場等の下落局面での収益獲得を期待する資産として、「イベントリスク対応タイプ」ヘッジファンドをこれまで活用してきましたが、新たに「金」を実質的な投資対象とするファンドを組み入れることといたしました【図表1・2】。

「金」はイベント発生時に「有事の金」として選好されて値上がりする傾向があり、「イベントリスク対応タイプ」ヘッジファンドと「金」を組み合わせることで株式市場等の下落局面での下振れ抑制の一層の強化をねらいます【図表3】。

「金」への投資にあたっては為替ヘッジをおこないます。昨今の金融市場ではイベント発生時に円高が進む傾向がありますが、円高は外貨建て資産の円建て評価の下落をもたらします。米ドル建て取引が中心の「金」においてもイベント発生時の値上がりが円高によって相殺されてしまう懸念があるため、為替ヘッジをおこなうことによって円高の影響を抑制することをねらいます。

なお、この見直しにともない、「イベントリスク対応タイプ」ヘッジファンド2種類の配分比率を削減します。

② 市場との連動性が低いヘッジファンドの新規組み入れ

ヘッジファンドの運用成果が株式市場に連動する傾向が強まるなか、当ファンドでは「安定収益追求タイプ」ヘッジファンドの安定性向上の観点から、株式市場の変動の影響を回避・抑制しながら良好な運用成果をあげているヘッジファンドの比率を拡大してきています。

今般、マーケット・ニュートラル（市場中立）戦略※をとる「FOFs用米国株式LSファンドS（適格機関投資家専用）」を安定収益追求タイプとして新たに組み入れることといたしました【図表4】。

※ 市場変動の影響を極力抑制しながら収益の獲得をねらう投資戦略

同ファンドを実質的に運用するツースigma・アドバイザーズは、AI（人工知能）等を活用した運用で良好な運用成果をあげており、近年ヘッジファンド業界でも注目されています。

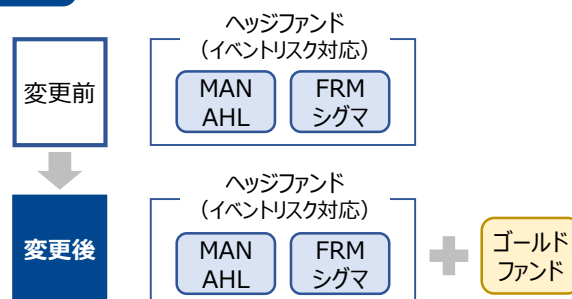
図表1 投資対象ヘッジファンドのタイプと役割

タイプ	期待する役割
安定収益追求タイプ	割安な資産の「買建て」と割高な資産の「売建て」を組み合わせる投資手法等を用いることで、市場の方向性の影響を抑えながら安定的に収益を獲得
イベントリスク対応タイプ	市場の下落局面においても、「売建て」取引の活用等により収益を獲得

図表2 新規組み入れファンド①

投資対象ファンド名	FOFs用ゴールド・ファンド 為替ヘッジあり（適格機関投資家専用）
運用会社	日興アセットマネジメント
運用の基本方針	主として、金地金価格への連動をめざす上場投資信託証券に投資をおこない、信託財産の成長をめざして運用をおこないます。

図表3 下落局面に備える投資対象ファンドの構成



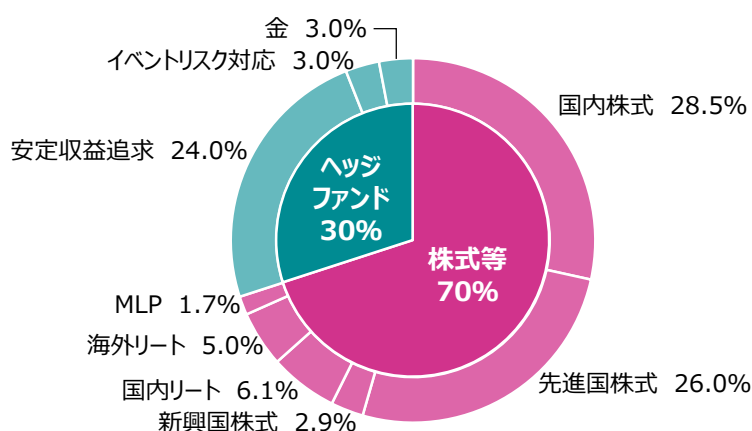
※ 投資対象ファンドの正式名称は、2ページにてご確認ください。

図表4 新規組み入れファンド②

投資対象ファンド名	FOFs用米国株式LSファンドS（適格機関投資家専用）
実質的な運用会社	ツースigma・アドバイザーズ
運用の基本方針	主として米国の金融商品取引所等に上場している株式等の買建てと売建てを組み合わせたマーケット・ニュートラル戦略により、投資信託財産の中長期的な成長をめざして運用をおこないます。

スカイオーシャン・サテラップ[®] (株式型)

図表5 基本資産配分比率



図表6 投資対象ファンドと配分比率

資産	投資対象ファンド	配分比率		
		変更前	変更後	変化幅
国内株式	FOFs用JPX日経インデックス400ファンドS (適格機関投資家専用)	15.0%	15.0%	0.0%
	FOFs用国内株式エンハスト運用戦略ファンドS (適格機関投資家専用)	10.1%	10.1%	0.0%
	FOFs用中小型株式ファンドS (適格機関投資家専用)	3.4%	3.4%	0.0%
先進国株式	FOFs用外国株式インデックス・ファンドS (適格機関投資家専用)	26.0%	26.0%	0.0%
新興国株式	FOFs用新興国株式セレクト・ファンドS (適格機関投資家専用)	2.9%	2.9%	0.0%
国内リート	FOFs用J-REITインデックス・ファンドS (適格機関投資家専用)	6.1%	6.1%	0.0%
海外リート	FOFs用グローバルREITインデックス・ファンドS (適格機関投資家専用)	5.0%	5.0%	0.0%
MLP	FOFs用MLPインデックスファンド (適格機関投資家専用)	1.7%	1.7%	0.0%
ヘッジファンド (安定収益追求)	Global Absolute Return Strategies Fund-Class D ^{A,H,JPY}	6.0%	6.0%	0.0%
	FOFs用 FRM ダイバーシファイド・リンク・ファンドS (適格機関投資家専用)	6.0%	4.5%	-1.5%
	FOFs用KIM マルチストラテジーリンクファンドS(適格機関投資家専用)	1.5%	1.5%	0.0%
	FOFs用ピクテ マルチストラテジー リンクファンドS(適格機関投資家専用)	3.0%	3.0%	0.0%
	マルチ・ストラテジー・ファンド (適格機関投資家専用)	6.0%	6.0%	0.0%
	Man Numeric Integrated Alpha Market Neutral - Class A	1.5%	1.5%	0.0%
	FOFs用米国株式LSファンドS (適格機関投資家専用)	0.0%	1.5%	1.5%
ヘッジファンド (イベントリスク対応)	FOFs用MAN AHL ダイバーシファイド リンクファンドS(適格機関投資家専用)	3.0%	1.5%	-1.5%
	FOFs用FRMシグマ・リンク・ファンドS (適格機関投資家専用)	3.0%	1.5%	-1.5%
金	FOFs用ゴールド・ファンド 為替ヘッジあり (適格機関投資家専用)	0.0%	3.0%	3.0%

※ 目標資産配分比率は2017年11月18日時点のものであり、適宜見直しをおこないます。

※ 配分比率は、端数処理の関係で合計値が100%とならない場合があります。

スカイオーシャン・サテラップ[®] (株式型)

ファンドの投資リスク

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**

株価変動リスク、金利変動リスク、リートの価格変動リスク、MLPの価格変動リスク、商品（コモディティ）の価格変動リスク、金上場投信の価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク、資産等の選定・配分にかかるリスク、ヘッジファンドの運用手法にかかるリスク、仕組み債券にかかるリスク、ブローカーの信用リスク

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

▼ その他の留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり幅が小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

ご購入の際は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

お申込みメモ

信託期間	原則として、2016年3月22日から2026年2月17日までとします。(2016年3月22日設定)
決算日	毎年2月17日(休業日の場合は翌営業日)です。ただし、初回決算日は2017年2月17日です。
収益分配	年1回の決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配をおこなわないことがあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
購入単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。
購入・換金申込受付不可日	申込日当日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申し込みを受け付けられないものとします。 (休業日については、委託会社または販売会社にお問い合わせください。) ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ロンドン証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日 ・ロンドンの銀行休業日
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度・未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。

ファンドの費用

▼お客さまが直接的にご負担いただく費用

【購入時】 購入時手数料	購入価額に 3.24%(税抜3.0%) を上限として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。
【換金時】 信託財産留保額	ありません。

▼お客さまが間接的にご負担いただく費用

【保有期間中】 実質的な運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対して 年率1.62%~1.97%程度(税込) 当ファンドは他のファンドを投資対象としています。したがって、当ファンドの運用管理費用 年率1.4688%(税抜1.36%) に当ファンドの投資対象ファンドの運用管理費用 年率0.15%~0.50%程度(税込) を加えた、お客さまが実質的に負担する運用管理費用を算出しています。ただし、この値は目安であり、投資対象ファンドの実際の組入状況により変動します。
【保有期間中】 その他の費用・手数料	監査費用、有価証券の売買・保管、信託事務にかかる諸費用、投資対象ファンドの解約にともなう信託財産留保額等をその都度(監査費用は日々)、ファンドが負担します。これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。また、上場投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示しておりません。

委託会社およびファンドの関係法人

- 委託会社 **スカイオーシャン・アセットマネジメント株式会社** [ファンドの運用の指図]
金融商品取引業者： 関東財務局長（金商）第2831号 加入協会： 一般社団法人投資信託協会
ホームページ： <http://www.soam.co.jp/>
- 受託会社 **三井住友信託銀行株式会社** [ファンドの財産の保管および管理]
- 販売会社 当ファンドの販売会社については次ページ【販売会社一覧】をご覧ください。 [募集・販売の取扱い、目論見書・運用報告書の交付等]

<当資料の取扱いに関する留意事項>を必ずお読みください。

スカイオーシャン・サテラップ^o（株式型）

販売会社一覧

商号等		加入協会
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第1977号	日本証券業協会
株式会社横浜銀行	登録金融機関：関東財務局長(登金)第36号	日本証券業協会 ・ 一般社団法人金融先物取引業協会

＜ご留意事項＞

- ◆ 当資料はスカイオーシャン・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法にもとづく開示書類ではありません。
- ◆ ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。
- ◆ 投資信託は値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクをとまいません。）に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。
- ◆ 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外で購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- ◆ 当資料は信頼できると判断した各種情報等にもとづき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- ◆ 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータにもとづき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。
- ◆ 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

＜当資料の取扱いに関する留意事項＞を必ずお読みください。